

業績・業務実績

論文

欧文

1. Kawano H, Yamamoto N, Kurohama H, Okano S, Kurobe M, Honda T, Akashi R, Yonekura T, Ikeda S, Izumikawa K, Maemura K: Fulminant Myocarditis and Acute Appendicitis after COVID-19 Vaccination. Internal Medicine 62(3):411-417, 2023 (IF 1.2)
2. Ashizawa H, Iwanaga N, Kurohama H, Ito Y, Ashizawa N, Hirayama T, Takeda K, Ide S, Nagayoshi Y, Tashiro M, Takazono T, Tagawa T, Fukushima K, Ito M, Nakamura S, Izumikawa K, Yanagihara K, Miyazaki Y, Mukae H: Pulmonary Coccidioidomycosis Complicated by Nontuberculous Mycobacterial Pulmonary Diseases with a Literature Review. Japanese Journal of Infectious Diseases 76(5):314-318, 2023 (IF 2.2)
3. Eto R, Kawano H, Matsuyama-Matsuu M, Matsuda K, Ueki N, Nakashima M, Okano S, Ishijima M, Kawakatsu M, Watanabe J, Yoshimuta T, Ikeda S, Maemura K: Ubiquitin, p62, and Microtubule- Associated Protein 1 Light Chain 3 in Cardiomyopathy. Circulation Reports 5(8):323-330, 2023 (IF 3.3)
4. Matsuu-Matsuyama M, Shichijo K, Tsuchiya T, Nakashima M: The effects of cystine and theanine mixture on the chronic survival rate and tumor incidence of rats after total body X-ray irradiation. Journal of Radiation Research 64(4):738-742, 2023 (IF 2.0)
5. Kawasaki K, Kai K, Tanaka N, Kido S, Ibi A, Minesaki A, Yamauchi M, Kuratomi Y, Aishima S, Nakashima M, Ito M: Collision tumor of a papillary and follicular thyroid carcinoma: a case report. Thyroid Research 16(1):24, 2023 (IF 2.2)
6. Koike H, Ashizawa K, Tsutsui S, Kurohama H, Okano S, Nagayasu T, Kido S, Uetani M, Toya R: Differentiation Between Heterogeneous GGN and Part-Solid Nodule Using 2 D Grayscale Histogram Analysis of Thin-Section CT Image. Clinical Lung Cancer 24(6):541-550, 2023 (IF 3.6)

邦文

1. 中島正洋：高異形度濾胞細胞由来非未分化癌：低分化癌と分化型高悪性度癌。日本内分泌外科学会雑誌 40(2):105-109, 2023
2. 高松紘子、磯本一郎、田崎裕太郎、高橋 元、中島正洋、上谷雅孝：好酸球性膀胱炎の1例。臨床放射線 68(4):413-417, 2023
3. 鳥村大司、島 智秋、吉田光一、上木 望、黒濱大和、長岡篤志、吉村俊祐、宮崎禎一郎、立石洋平、辻野 彰：急速に増大する脳実質病変を呈した好酸球増多症候群の一例。臨床神経学 63(2):116-116, 2023
4. 松田勝也、田中 圭、金子洋平、原 拓也、里 翼、久保 綾、高木雄三、市来奈津子、片渕 直、田中義成、寺坂正樹、中島正洋：長崎県における子宮頸部細胞診 atypical glandular cells (AGC) の現状と課題。日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 54:13-17, 2023
5. 松本和幸、加藤丈晴、山田悠一、坂本 光、蓬萊眞喜子、糸永英弘、佐藤信也、馬場真紀、安東恒史、北山 素、荒井淳一、黒濱大和、大島孝一、宮崎泰司：治療後に気管食道瘻を合併した古典的ホジキンリンパ腫の症例。臨床血液 64(7):687-688, 2023

学会発表

国際学会

一般発表（口演）

1. Sekine J, Matsuoka Y, Kuwahara T, Togashi H, Kishikawa M, Vieth M: One-stage reconstruction of surgical defect following resection of arteriovenous malformation in the lip using transverse triangular island flaps. The 68th Annual Congress of International College of Surgeons Japan Section. 2023 年 6 月 10 日 東京
2. Tratsiakova K: Clinicopathological characterization of thyroid papillary carcinoma in autoimmune thyroiditis. The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ
3. Kurohama H, Mussazhanova Z, Katsiaryna T, Matsuda K, Ueda M, Sato S, Yamashita H, Nakashima M: Clinicopathological features of podoplanin(D2-40)-positive thyroid cancer. The XVI International Scientific and Practical

Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ

一般発表（示説）

1. Tratsiakova K: Clinicopathological characterization of thyroid papillary carcinoma in autoimmune thyroiditis. The 7th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science. 2023 年 2 月 20 日 広島
2. Kerimbayeva A, Sailaubekova S, Matsuoka Y, Matsuda K, Suzuki K, Nakashima M: Molecular pathologic in situ analysis for histogenesis of thyroid cancer during anaplastic transformation. The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ
3. Sailaubekova Y, Kerimbayeva A, Matsuoka Y, Suzuki K, Matsuda K, Nakashima M: Altered expression of autophagy and Wnt/ β -catenin molecules in different subtypes of thyroid cancer. The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ

プレナリーレクチャー

1. Nakashima M: Biomaterials of Atomic bomb survivors in Nagasaki. The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ
2. Nakashima M: Molecular pathologic analysis for radiation-induced thyroid carcinogenesis with a rat model. The XVI International Scientific

and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University". 2023 年 8 月 28 日～29 日 カザフスタン, セメイ

国内学会

受賞口演

1. 上田真由：Molecular Pathological Characteristics of Thyroid Follicular-patterned Tumors Showing Nodule-in-nodule Appearance with Poorly Differentiated Component. 第 23 回日本内分泌学会九州支部学術集会. 2023 年 9 月 2 日 長崎

招待口演

1. 黒濱大和：切り出し講習会. 2023 年度長崎県病理細胞検査研修会. 2023 年 9 月 6 日 Web

シンポジウム

1. 中島正洋：甲状腺悪性腫瘍・その他の腫瘍の主な改訂ポイント. 第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会. 2023 年 6 月 9 日～11 日 ハイブリッド 愛知
2. 松田勝也、田中 圭、金子洋平、原 拓也、里 翼、久保 綾、高木雄三、市来奈津子、片渕 直、田中義成、寺坂正樹、中島正洋：長崎県における子宮頸部細胞診 AGC 判定成績. 第 37 回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・がん検診従事者指導講習会. 2023 年 6 月 25 日 Web
3. 黒濱大和、溝口太郎：AGC の細胞像と対応病理組織像の例示. 第 37 回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・がん検診従事者指導講習会プログラム. 2023 年 6 月 25 日 Web
4. 松田勝也、田中 圭、金子洋平、原 拓也、里 翼、久保 綾、高木雄三、市来奈津子、片渕 直、田中義成、寺坂正樹、中島正洋：長崎県における子宮頸部細胞診 AGC 判定成績. 第 37 回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・がん検診従事者指導講習会プログラム. 2023 年 6 月 25 日 Web
5. 中島正洋：甲状腺腫瘍における細胞診の可能性. 第 27 回日本臨床内分泌病理学会学術総会. 2023 年 9 月 22 日～23 日 大分

6. 中島正洋：甲状腺悪性腫瘍について．第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会．
2023 年 11 月 4 日～5 日 福岡

ワークショップ

1. 橋口慶一、黒濱大和、塩田純也、田渕真惟子、北山 素、松島加代子、山口直之、大仁田 賢、岡野慎士、中尾一彦：当院で経験した粘膜下層浸潤を伴う非乳頭部十二指腸癌についての検討．第 19 回日本消化管学会総会学術集会．2023 年 2 月 3 日～4 日 ハイブリッド 東京
2. 中島正洋：長崎における原爆被爆者の病理試料について．第 63 回原子爆弾後障害研究会．2023 年 6 月 4 日 Web

パネルディスカッション

1. 中島正洋、大坪智恵子、Mussazhanova Zhanna、黒濱大和、上木 望、松岡優毅、佐藤伸也、山下弘幸：甲状腺癌患者の頸部リンパ節に含まれる甲状腺濾胞上皮の鑑別についての新たな指標．第 35 回日本内分泌外科学会．2023 年 6 月 15 日～17 日 長野
2. 黒濱大和：若手～ベテラン病理医が何でも答えます!．第 11 回秋の病理学校．2023 年 10 月 7 日 Web

サージカルフォーラム

1. 大坪竜太、田中 彩、馬場雅之、松本 恵、森田 道、久芳さやか、加勢田富士子、林 洋子、前田茂人、矢野 洋、稲益英子、荻谷朗子、関谷健太、柳原克紀、中島正洋、碓 秀樹、大野真司、武井寛幸、江口 晋、永安 武：Semi-drydot-blot (SDB) 法を応用した新規乳癌リンパ節転移診断キットと自動解析機に関する多施設共同臨床性能試験．第 123 回日本外科学会定期学術集会．2023 年 4 月 27 日～29 日 東京

一般発表（口演）

1. 佐田友貴乃、磯本一郎、白藤智之、中島正洋：脂肪織内に突出した乳管内病変を伴う乳管内成分優位浸潤性乳管癌（硬性型）の一例．第 32 回日本乳癌癌画像研究会．2023 年 2 月 4 日～5 日 ハイブリッド 東京

2. 峯 慧輔、小野沙和奈、谷口寛和、緒方良介、朝野寛視、梅山泰裕、行徳 宏、竹本真之輔、迎 寛、一瀬将広、吉川 亮、黒濱大和、岡野慎士：胃 mucosa associated lymphoid tissue (MALT) リンパ腫診断時から存在した気管支病変が増大し左主気管支狭窄を生じた 1 例. 第 46 回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会. 2023 年 2 月 10 日～11 日 長崎
3. 塚田敏昭、宮崎洋一、松岡優毅、植田光晴：手根管症候群で発症した RS3PE 症候群の一例. 第 63 回九州リウマチ学会. 2023 年 3 月 11 日～12 日 福岡
4. 吉川 亮、黒濱大和：腎腫瘍. 第 392 回九州・沖縄スライドコンファレンス. 2023 年 3 月 18 日 Web
5. 松田勝也：婦人科領域の細胞診. 第 24 回長崎県細胞検査士会懇話会. 2023 年 4 月 12 日 Web
6. Bychkov Andrey、廣川満良、中島正洋：A multi-institutional study of PD-L1 expression in anaplastic thyroid carcinoma. 第 112 回日本病理学会総会. 2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
7. 高橋孝輔、田島和昌、中尾康彦、福島真典、佐々木 龍、小澤栄介、三馬 聡、宮明寿光、中尾一彦、黒濱大和：超音波内視鏡下針生検が確定診断に有用であった胸腺癌肺転移の一例. 日本超音波医学会第 96 回学術集会. 2023 年 5 月 27 日～29 日 埼玉
8. 藤本成明、松山睦美、中島正洋：ラット甲状腺新生仔期被曝による遺伝子発現変化とその腫瘍化への関与. 第 96 回日本内分泌学会学術総会. 2023 年 6 月 1 日～3 日 ハイブリッド 愛知
9. 有森春香、池岡俊幸、久保萌子、上木 望、中島正洋、重野里代子、中嶋遥美、堀江一郎、今泉美彩、宇佐俊郎、川上 純：28 年間局在不明で剖検にて診断された縦郭内 ACTH 産生腫瘍の一例. 第 96 回日本内分泌学会学術総会. 2023 年 6 月 1 日～3 日 ハイブリッド 愛知
10. 中島正洋：甲状腺がんの分子病理：構造と分子. 第 7 回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス. 2023 年 6 月 3 日 Web
11. 中村仁美、平山三国、今泉利信、山田明希、田中 圭、大館拓真、山形真祐美、溝口太郎、迫頭直子、穴見正信、岸川正大、黒濱大和、山口 倫、岡野慎士：胸水に好塩基球増多を伴った TdT 陰性 T リンパ芽球性リンパ腫の 1 症例. 第 37 回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・がん検診従事者指導講習会プログラム. 2023 年 6 月 25 日 Web

12. 松岡優毅、松本博文、馬場麻里、高木雄三、黒濱大和、松田勝也、中島正洋：肺乳頭状腺腫の 1 例. 第 37 回長崎県臨床細胞学会総会および学術集会・がん検診従事者指導講習会プログラム. 2023 年 6 月 25 日 Web
13. 齋藤理恵、多田有似、及川大輔、佐藤裕介、岩永圭介、岩永圭介、佐藤 聡、瀬戸牧子、久米広大、上木 望、中島正洋、林森太郎、豊島靖子、徳永文稔、川上秀史、柿田明美：Gordon Holmes syndrome and SCA17-DI: pathology of 2 unrelated patients with Huntington-like disorder. 第 64 回日本神経病理学会総会学術研究会/第 66 回日本神経化学学会大会. 2023 年 7 月 6 日～8 日 兵庫
14. 上田真由、松田勝也、佐藤伸也、山下弘幸、川上 純、中島正洋：術後 3 年で再発を認めた低分化成分を有する結節内結節型非浸潤性甲状腺結節の 1 例. 第 10 回日本甲状腺病理学会総会・学術集会. 2023 年 7 月 8 日 福島
15. 松田勝也、上田真由、Mussazhanova Zhanna、進藤久和、佐藤伸也、山下弘幸、中島正洋：DICER1 ミスセンス変異を伴う小児 FT-UMP の 1 例. 第 10 回日本甲状腺病理学会総会・学術集会. 2023 年 7 月 8 日 福島
16. 黒濱大和、Mussazhanova Zhanna、Tratsiakova Katsiaryna、松田勝也、上田真由、佐藤伸也、山下弘幸、中島正洋：Podoplanin(D2-40)陽性甲状腺癌の臨床病理学的特徴. 第 10 回日本甲状腺病理学会総会・学術集会. 2023 年 7 月 8 日 福島
17. 小松直広、西原敬仁、橋本さつき、松岡優毅、中島 潤、森崎智仁：多発脾腫瘍を契機に EUS-FNA で診断しえたびまん性大細胞性リンパ腫の 1 例. 第 54 回日本脾臓学会大会. 2023 年 7 月 21 日～22 日 福岡
18. 松岡優毅、馬場麻里、高木雄三、松本博文、黒濱大和、松田勝也、中島正洋：術中細胞診が有用だった肺乳頭状腺腫の 1 例. 第 38 回日本臨床細胞学会九州連合会学会. 2023 年 7 月 22 日～23 日 熊本
19. 本山高啓、松岡優毅、中島正洋：高齢発症膠肉腫の 1 剖検例. 第 38 回日本臨床細胞学会九州連合会学会. 2023 年 7 月 22 日～23 日 熊本
20. 大石海道、黒濱大和：大腸の症例. 第 335 回長崎胃疾患検討会. 2023 年 8 月 23 日 ハイブリッド 長崎
21. 松田勝也、上田真由、黒濱大和、佐藤伸也、山下弘幸、中島正洋：術後 3 年で再発を認めた低分化成分を伴う結節内結節型良性甲状腺結節の 1 例. 第 27 回日本臨床内分泌病理学会学術総会. 2023 年 9 月 22 日～23 日 大分

22. 梅田雅孝、塚本 裕、杉本尊史、小笹宗一郎、赤羽目翔悟、福井翔一、古賀智裕、松岡優毅、古瀬祐気、前田隆浩、有吉紅也、川上 純：MEFV 複合ヘテロ接合体変異を持つ難治性ベーチェットに対してカナキヌマブを含む加療が有効であった一例．第 51 回日本臨床免疫学会総会．2023 年 10 月 5 日～7 日 東京
23. 大仁田 賢、黒濱大和：胃の症例．第 336 回長崎胃疾患検討会．2023 年 12 月 13 日 ハイブリッド 長崎

一般発表（示説）

1. 桑原 愛、大仁田 賢、柴田雅士、柿ヶ尾佳奈、植原亮平、東 俊太郎、井上健一郎、中尾一彦、赤澤祐子、中島正洋：当院で経験したラズベリー様腺窩上皮型胃癌症例に関する検討．第 109 回日本消化器病学会総会．2023 年 4 月 6 日～8 日 ハイブリッド 長崎
2. 上木 望、山根大毅、添田李子、片渕 直、米満伸久、中島正洋：剖検により明らかになった胆嚢肉腫様癌の一例．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
3. 新野大介、中島正洋：2008 年～2017 年のリンパ系悪性腫瘍の発症頻度：長崎県がん登録データの解析．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
4. 三浦史郎、添田李子、忽那史也、佐藤俊輔、三原裕美、宮本和人、小森隆司、伊東正博：劇症型ギラン・バレー症候群の 1 剖検例．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
5. 佐藤俊輔、三浦史郎、三原裕美、伊東正博：当院におけるパラフィン包埋切片を用いた遺伝子変異解析不能例の検討．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
6. 添田李子、伊東正博、三原裕美、米田 晃、上木 望、中島正洋、三浦史郎：胎児型形質を有する胃癌の病理学的特徴～侵襲性と予後の検討～．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口
7. 松岡優毅、黒濱大和、小笠原俊輔、中村 裕、石井光寿、中島正洋：腸管穿孔を契機に発見された横行結腸印環細胞癌の 1 例．第 112 回日本病理学会総会．2023 年 4 月 13 日～15 日 ハイブリッド 山口

8. 増田真吾、上原裕規、福井翔一、小笹宗一郎、赤羽目翔悟、山梨啓友、今西大介、勝岡真一、佐藤信也、野村賢太郎、黒濱大和、宮崎泰司、前田隆浩：不明炎症の診断に 18FDG-PET/CT が有用だった、血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例。第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会。2023 年 5 月 12 日～14 日 愛知
9. 小橋川早紀、濱口大輔、岩田知真、黒崎真紀、松岡優毅、三浦清徳：抗 NMDA 受容体脳炎に対し複数回の腹腔鏡下手術を施行し症状が改善した 1 例。第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会。2023 年 7 月 14 日～16 日 ハイブリッド 島根
10. 馬場麻里、望月哲朗、高木雄三、藤原孝生、大坪智恵子、黒濱大和、松岡優毅、岸川正大、中島正洋：当院における ALK 陽性肺腺癌症例の臨床細胞学的特徴分析。第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会。2023 年 11 月 4 日～5 日 福岡
11. 高木雄三、望月哲朗、山崎文絵、馬場麻里、藤原孝生、大坪智恵子、吉富 泉、岸川正大、中島正洋：扁平上皮癌との鑑別が困難であった骨外性／周辺型エナメル上皮腫の 1 例。第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会。2023 年 11 月 4 日～5 日 福岡
12. 石井光寿、鄭 暁剛、肥田泰慈、原 亮介、松本博文、福岡秀敏、村岡昌司、山口広之、松岡優毅、大坪智恵子、中島正洋：膵腺房細胞分化を伴う低分化上行結腸癌の 1 切除例。第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会。2023 年 11 月 10 日～11 日 熊本

専修医発表

1. 野尻暁太、大仁田 賢、桑原 愛、柿ヶ尾佳奈、植原亮平、東 俊太郎、井上健一郎、神谷直昭、林 康平、園田悠紀、本田琢磨、中尾一彦、松岡優毅、中島正洋：異所性胃粘膜を背景とした食道腺癌と同時に発見された転移性胃癌の 1 例。第 122 回日本消化器病学会九州支部例会・第 116 回消化器内視鏡学会九州支部例会。2023 年 11 月 24 日～25 日 沖縄

受賞

1. 中島正洋：The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology. Radiation. Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial

Joint-Stock Company "Semey Medical University" . Best foreign leader for PhD students from Semey Medical University. 2023 年 8 月 29 日 カザフスタン, セメイ

2. 上田真由：第 23 回日本内分泌学会九州支部学術集会. 第 8 回 JES We Can 九州支部賞. 2023 年 9 月 2 日 長崎
3. Kerimbayeva Adiya：第 2 回「核なき未来」オピニオン. U30-部 最優秀賞. 2023 年 9 月 23 日 長崎

報道

1. 松田勝也：子宮頸がん啓発企画 2023 LOVE49 プロジェクト. NBC ラジオ. 2023 年 4 月 6 日
2. 中島正洋：長崎原爆資料館リニューアル 専門家小委員会が始動 新たな展示方法について意見交わす. 長崎新聞. 2023 年 7 月 28 日
3. 中島正洋：ヒロシマとナガサキの後：命を狙われ非合法化. German Medical Journal. 2023 年 8 月 7 日
4. 中島正洋：長崎市で放射線医療をカザフスタンに医療従事者が研究. NBC 長崎放送. 2023 年 8 月 20 日
5. 中島正洋：原爆投下に至る歴史 加害と被害の両面から議論 原爆資料館リニューアル運営審議会小委員会. 長崎新聞. 2023 年 8 月 25 日
6. 中島正洋：原爆投下、歴史認識を議論 資料館展示 小委員会. 毎日新聞. 2023 年 8 月 25 日
7. 中島正洋：長崎原爆資料館の原爆投下に至る歴史展示を議論. KTN テレビ長崎. 2023 年 8 月 25 日
8. 中島正洋：被爆 80 年に向け資料館展示リニューアル 審議会で議論. 朝日新聞デジタル. 2023 年 8 月 25 日
9. 中島正洋：若い世代への伝え方議「自分事」「双方向」キーワードに. 長崎新聞. 2023 年 9 月 20 日
10. Kerimbayeva Adiya：第 2 回「核なき未来」オピニオン 長崎大 RECNA 最優秀賞作品「核兵器のない未来」. 長崎新聞. 2023 年 9 月 24 日
11. 中島正洋：患者の臓器標本からは今も放射線「薬害」伝える資料、全て保管し引き継げるかどうか…。信濃毎日新聞. 2023 年 10 月 20 日

書籍・教材

1. 中島正洋：目で見る病気 第3版 VOL.14 内分泌系の疾患. 医学映像教育センター, 2023年8月
2. 中島正洋：甲状腺癌取り扱い規約 第9版. 金原出版, 2023年10月20日

科学研究費

1. 中島正洋：科学研究費助成基金（基盤研究 C）：甲状腺がんの組織構築の heterogeneity を考慮した予後不良形質の分子病理 429 万円（2023-2025）
2. 松田勝也：科学研究費助成基金（基盤研究 C）：甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診断を可能とする 53BP1 発現型の定量解析 416 万（2022-2025）
3. Mussazhanova Zhanna：科学研究費補助金（若手研究）：甲状腺がん未分化転化に至る形態学的構造の分子病理学的 in situ 解析 455 万（2022-2024）
4. 上木 望：科学研究費補助金（若手研究）：乳癌発癌機構におけるゲノム不安定性の 53BP1 を指標とした総合的解析 351 万（2021-2023）
5. 黒濱大和：科学研究費補助金（若手研究）：被膜のない甲状腺濾胞性病変の意義：結節内結節病変に着目した分子病理学的解析 468 万円（2021-2023）